

編 集 後 記

小泉首相の後継者を定めるべく、名乗りを上げた3人の総裁選候補者の論戦華やかな時であります。本誌が皆様のお手元に届く頃には、晴れて新総理が決まっていることと思えます。

3人の候補者の中で、安倍官房長官の共同記者会見での主張の一つは、「経済成長にIT活用、投資促進に向けて政策減税を実施」とのこと。

今後、益々ITの重要性が高まってくる事は否めない事実と思われ、本誌の特集でも多方面からITの重要性・必要性が議論されております。

官民あげての一層の展開・実現が期待される分野の一つと思えます。

もう一つ、皇室に久々に男のお子様が生まれ、その経済波及効果は、一説には、数兆円単位で期待できるとのこと。

オーバーとも思われますが、日本経済の回復基調へ一層の刺激を与えることは間違いないと思えます。

これら、今後の日本経済の更なる発展へ好影響を及ぼす要因が、今後も色々出てくることを期待して、また、これらが地方経済の再構築に繋がることを期待して止みません。

新しい日本の建設には、一層の各種情報を駆使した情報化施工とIT

による効率的な工事が重要な役割を果たすことは必死でありましょう。

さて今回の特集であります『情報化施工とIT』について、計画素案を構築する段階において、参考文献、参考報文などの検索に始まり、途中段階で数回事務局の方々との個別の打合せを行い編集委員会での各委員からのご意見、ご指導、ご提案などを参考にこの10月号が出来上がりました。

文献の収集において、情報化施工とIT化は機械業界においては飛躍的に進歩しているものの、なかなか、企業としての特許出願などが絡んでいるのでしょうか、文献の収集に苦心したことを思い出します。

いっぽう、土木業界に目を向けたときには、大規模プロジェクトの縮小でしょうか？ せっかくのメーカーの技術進歩を十分に利用できるようなプロジェクトが減っているように感じました。

情報化施工のひとつに土質定数などの計測を実施しながらの大規模掘削などが以前から行われていたことを思い出しました。

終わりにあたりまして、ご多忙中にもかかわらず、当月号の報文の執筆にご協力をいただいた皆様方に感謝するとともに、編集委員会より厚く御礼申し上げます。

(和田・新野)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宣史
渡邊 和夫	

編集委員長

村松 敏光

編集委員

清水 純	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
照井 敏弘	農林水産省
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
村東 浩隆	中日本高速道路
新野 孝紀	首都高速道路
坂本 光重	本州四国連絡高速道路
平子 啓二	水資源機構
吉村 豊	電源開発
松本 敏雄	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
宮崎 貴志	竹中工務店
銅冶 祐司	東亜建設工業
中山 努	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
吉越 一郎	ハザマ
三柳 直毅	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

11月号「ロボット・無人化施工特集」予告

- ・ISARCを振り返って
- ・ロボット等によるIT施工システムの開発
- ・在来工法を併用した全自動ビル建設システム
- ・煙突自動除染煉瓦解体ロボット
- ・無人情報化施工を目指して—水中3D測量と自律航行船の融合—
- ・災害復旧における遠隔操作ロボットの出勤事例
- ・レスキューロボットの展望

No.680 「建設の施工企画」 2006年10月号

〔定価〕1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成18年10月20日印刷

平成18年10月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 電話 (0545) 35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8 電話 (011) 231-4428

東北支 部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1 電話 (022) 222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市新光町 6-1 電話 (025) 280-0128

中部支 部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 電話 (052) 241-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4 電話 (06) 6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22 電話 (082) 221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 電話 (087) 821-8074

九州支 部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20 電話 (092) 741-9380